



福岡医発第2389号(地)

平成24年 1月14日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

平成24年の花粉情報について (ご案内)

福岡県医師会では春の花粉の飛散シーズン中、毎日、新聞・テレビ等を通じ花粉情報を県民に流す花粉情報システム事業を平成元年から実施し、貴職はじめ関係機関のご協力により、お陰様で多大の成果を上げておりますことを、厚く御礼申し上げます。

本事業は昭和63年より開始し、24年目を迎えることとなりました。また、平成2年からは観測範囲を九州各県に拡大し、さらに平成6年より患者定点医療機関も加わり情報内容もより充実しております。

つきましては、貴会で花粉情報(福岡県のコメント及び九州各県の情報)を希望される場合は、福岡県医師会ホームページへアクセスしていただき、情報を取り出させていただきますようお願いいたします。

なお、

- 1) 最近の花粉飛散動向から情報伝達する期間に関して調査を行いました結果、情報伝達期間については、2月1日～4月15日の期間において行います。
- 2) 調査期間 : 1月31日～4月30日
報道期間 : 2月 1日～4月15日
- 3) 添付資料
 - ① 平成24年福岡県における花粉情報システムについて (資料 1)
 - ② 平成24年福岡県・九州各県花粉情報システム構成図 (資料 2)
 - ③ 平成24年九州各県花粉情報の定点医療機関名簿 (資料 3)

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 名取一幸
会長 蒲池 壽

平成24年 福岡県における花粉情報システムについて

1. 目 的

花粉症（アレルギー性鼻炎 アレルギー性結膜炎）患者を対象として花粉症の予防・治療を目的として花粉情報システムを行う。

2. 調査期間

1月31日～4月30日（報道期間：2月1日～4月15日）

3. 報告システム

1) 空中花粉検索

ダークラム型花粉検索器を福岡県15か所に設置し、前日のスギ花粉およびヒノキ花粉飛散数を毎朝カウントし、国立病院機構福岡病院にFAXで毎日午前中（月曜日～土曜日の10:00迄）に報告する。（報告様式は別紙参照）
但し、土曜日が休みの定点は月曜日に報告する。

2) コメント

国立病院機構福岡病院では、過去（30年分）のデータ並びにその日の気象条件と昨日の飛散データをもとにその日の飛散を予測したコメントを11:00迄に作成し、福岡県医師会ホームページに掲載する。

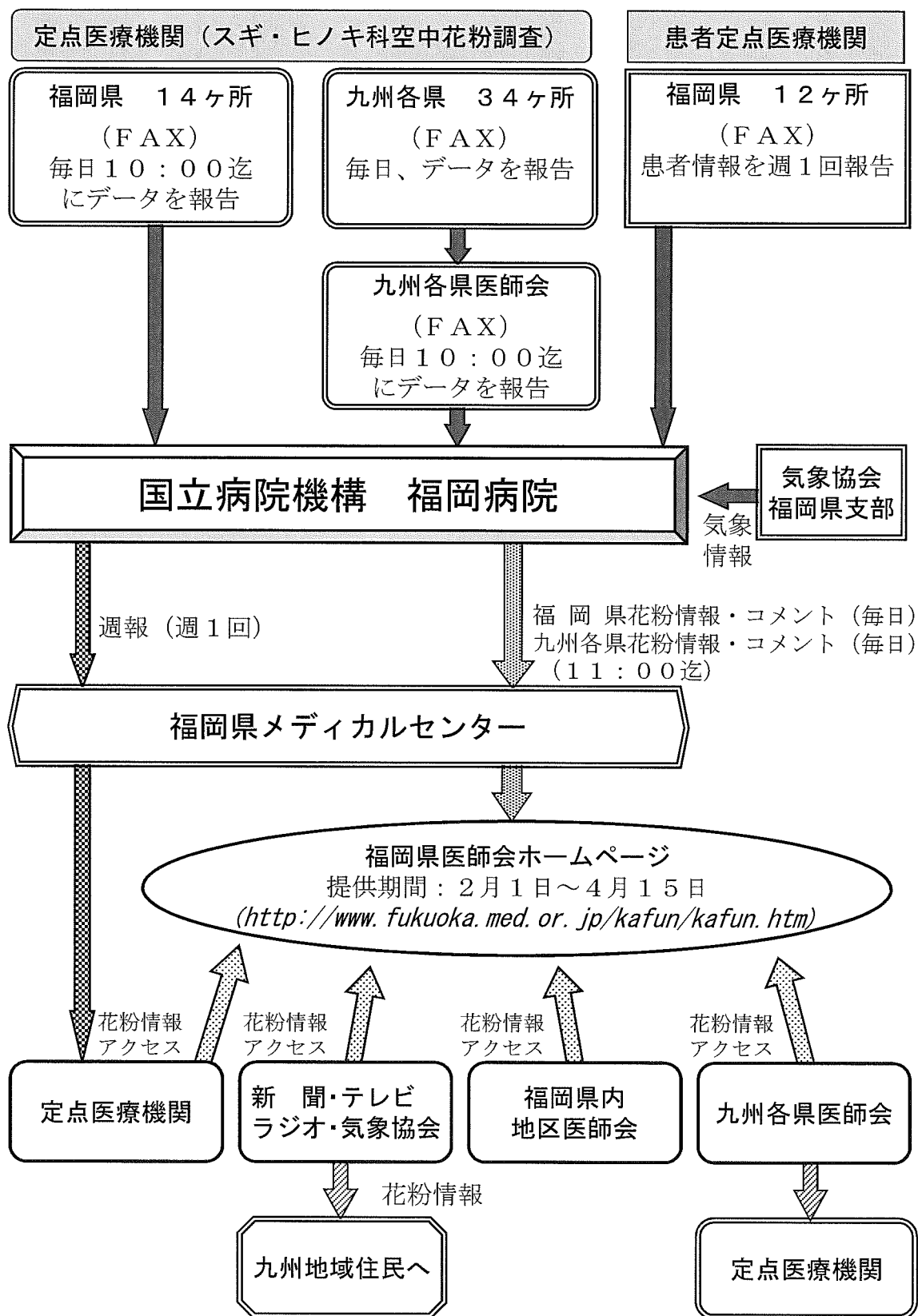
3) 各地区医師会の花粉情報アクセス方法

花粉情報（福岡県のコメント、九州各県の情報）を希望する医師会は、福岡県医師会ホームページに毎日11:00以降アクセスし、情報を取り出して下さい。

(<http://www.fukuoka.med.or.jp/>)

また、情報は毎日変わりますので、前日の情報は翌日の11:00迄しか取り出し出来ませんのでご注意ください。

平成24年 福岡県・九州各県 花粉情報システム



平成24年福岡県花粉情報の検査定点医療機関名簿

NO.	県	医療機関名	管理者名	〒	住 所	電話番号	FAX番号	連絡責任者	観測者名	
1	福岡	小倉記念病院	延吉 正清	802-0073	北九州市小倉北区貴船町1-1	093-921-2231	093-921-8497	中西 政晴	中西 政晴	貞末 信幸
2	福岡	小倉医師会臨床検査センター	合馬 紘	802-0076	北九州市小倉北区中島1-19-17	093-551-3182	093-522-1351	笠谷美津代	土井美由紀	迫村 竜巳
3	福岡	九州健康総合センター	大野 正人	805-0062	北九州市八幡東区平野3-2-1	093-672-6050	093-681-3495	木森 恵子	木森 恵子	古野 博子
4	福岡	豊前築上医師会成人病検診センター	梶村 保	828-0021	豊前市大字八屋1522-2	09798-2-2758	09798-2-8870	竹本 誠哉	田中貴美子	相良みゆき
5	福岡	福岡市医師会成人病センター	梅田 文夫	814-0005	福岡市早良区祖原15-7	092-831-1211	092-845-7606	皆元 豊	皆元 豊	堀 ひとみ
6	福岡	福岡大学筑紫病院	岩下 明德	818-8502	筑紫野市俗明院1-1-1	092-921-1011	092-923-5091	篠原 克幸	大平 雅代	染谷 朱美
7	福岡	糸島医師会病院	山田 賢典	819-1112	前原市大字浦志532-1	092-322-3631	092-322-1206	北村 勝秀	北村 勝秀	
8	福岡	宗像医師会病院	大塚 毅	811-3431	宗像市田熊1201-1	0940-37-1188	0940-36-5566	篠崎 剛	篠崎 剛	水田 修二
9	福岡	直方中央病院	野田 晏宏	822-0001	直方市感田3573-1	09492-6-2311	09492-6-6748	立石 亨	立石 亨	中嶋 講治
11	福岡	飯塚医師会検診検査センター	谷口英之輔	820-0043	飯塚市西町7-8	0948-22-5622	0948-28-9109	構木正一郎	構木正一郎	平嶋喜代美
13	福岡	朝倉医師会病院	古賀 昭次	838-0023	朝倉市三奈木2466-1	0946-23-0033	0946-24-6160	梅木 雄二	梅木 雄二	江頭 辰男
48	福岡	社団法人北九州市薬剤師会	小野 春夫	805-0041	北九州市八幡東区祝町2-13-2	093-651-2255	093-651-4566	岡本 晃昌	深川 奈美	柴田 浩子
49	福岡	田川市立病院	池田 喜彦	825-8567	田川市大字糺1700-2	0947-44-2100	0947-45-0715	永野 誠	永野 誠	村上 起久子
50	福岡	新田原耳鼻咽喉科クリニック	松下 太	824-0026	行橋市道場寺1464-2	0930-25-5520	0930-25-5662	松下 太	松下 太	

平成24年花粉情報の患者定点医療機関名簿

[眼 科]

NO.	医療機関名	管理者名	〒	住 所	電話番号	FAX番号	連絡責任者
1	三村眼科医院	三村 守親	803-0818	北九州市小倉北区堅町2-6-11	093-561-7905	093-561-7996	三村 守親
2	鬼木眼科医院	鬼木信乃夫	818-0072	筑紫野市二日市中央4-6-13	092-922-2414	092-924-7910	鬼木信乃夫
3	倉員眼科医院	倉員 健一	825-0018	田川市番田町1-39	0947-42-1045	0947-42-1050	倉員 健一
4	林眼科医院	林 大助	830-0032	久留米市東町361	0942-32-2168	0942-37-1443	林 大助

[耳鼻科]

NO.	医療機関名	管理者名	〒	住 所	電話番号	FAX番号	連絡責任者
5	河田耳鼻咽喉科医院	河田 賢治	800-0257	北九州市小倉南区湯川1丁目1-17	093-931-0525	093-931-0906	河田 賢治
6	栗田耳鼻咽喉科医院	栗田 建一	807-0825	北九州市八幡西区折尾3丁目8-24 キャンパスハイツ2F	093-601-0177	093-601-0177	栗田 建一
7	横光耳鼻科医院	横光 智	800-0054	北九州市門司区社ノ木1-16-1	093-372-5311	093-372-5311	横光 智
8	耳鼻咽喉科柴田クリニック	柴田 浩一	810-0004	福岡市中央区渡辺通2丁目1-12	092-713-8185	092-713-6480	柴田 浩一
9	山田耳鼻咽喉科医院	山田 篤伸	815-0033	福岡市南区大橋1丁目15-12	092-541-2353	092-512-2747	山田 篤伸
10	宗耳鼻咽喉科医院	宗 信夫	819-0002	福岡市西区姪の浜1丁目16-29	092-891-3333	092-891-3333	宗 信夫
11	江浦医院	籾 雄一	822-0017	直方市殿町10-38	09492-2-0202	09492-2-1711	籾 雄一
12	上村耳鼻咽喉科医院	上村 正行	836-0012	大牟田市明治町1丁目2-1	0944-52-4426	0944-52-4436	上村 正行

2011.1.17.

花粉情報反省会 2010

この情報活動は昭和 63 年（1988）から開始し、2010 年で福岡市は 23 年目、県は 22 年目、九州全域では 21 年目である。今年は 49 施設（ボランティア 1 施設）が情報活動に参加していただいた。5 年前から報道機関等への情報提供を早め、2 月 1 日から開始した。

今年の飛散の特徴と九州全域の飛散状況

今年の九州におけるスギ花粉は、九州全域で、2 月 8～12 日の間に飛散開始した。

福岡県では、昨年より少なく前年の約 20～90%（平均で約 50%）捕集数施設が多く見られ、九州全域でも前年の 10～60%（平均約 30%）非常に少ない捕集数であった（図 1、2）。ピークは 2 月 23、4 日頃であった。ヒノキ科は 3 月 9～12 日頃から飛散しはじめ、3 月 19 日～20 日に小さなピークが見られ、4 月下旬に飛散終了した。昨年よりも九州全域でスギよりもさらに少なく 4～60%（平均約 20%）の捕集数であった（図 1、2）。本格的な飛散時期の天候不順によると考えられた。

福岡県患者受診状況

耳鼻科 9 施設で 7192 名、眼科 4 施設で 655 名、受診数は、昨年と比較して眼科 71%、耳鼻科では 80%であった（図 1）。スギ花粉飛散ピーク時期に受診数が増加し、その後漸減し、例年通りの患者受診状況が見られた。市内 2 件の耳鼻科（柴田クリニック、山田耳鼻科）の患者受診時の問診表調査では男性 377 名、女性 528 名（905 名）で、40 代をピークに女性は 20～50 代の頻度が高く、男性は 30 代にピークを示した。スギ花粉飛散時期に一致して悪化する例が多く、飛散開始直後の 2 月上旬発症する症例が多かった（図 3）。

イネ科花粉と花粉症

昨年と同じく福岡県医師会のホームページに 5 月から 7 月初めまで、福岡病院で観測されたイネ科花粉飛散状況を掲載された。5 月から宗耳鼻科のイネ科花粉症患者受診数を報告していただき、同様にホームページに掲載された。ダーラムの花粉捕集器ではわかりにくいロータリー式の花粉捕集器と受診状況が比較的一致していると思われた（図 4）。

はなこさん リアルタイムモニター 花粉情報

平成 19 年 4 月より「はなこさん」が稼動しており 2 月 1 日からインターネットで見ることができた。花粉が少ない時期はリアルタイムモニターとダーラム（重力法）の相関が悪いことがわかっている。現在重力法結果との整合性、臨床症状をふまえたランク付けが全国的に検討されつつあり、とくに臨床症状との関係の検討が必要である。（図 5）

2011 年の予測

2011 年の予測は、前年 7 月の月平均気温、湿度、全天日射量の重回帰分析で算出した。各条件から 2011 年の総数を計算した結果：有意水準 1%で重回帰の式に各変数を代入した。 $r = 0.75$ 、 $p = 0.0002$ 、変数：2010 年 7 月平均気温：27.7℃、平均湿度：73%、全天日射量 15.6 MJ/m²

総数は 24 年平均の 1.1 倍、 2010 年の 2.3 倍

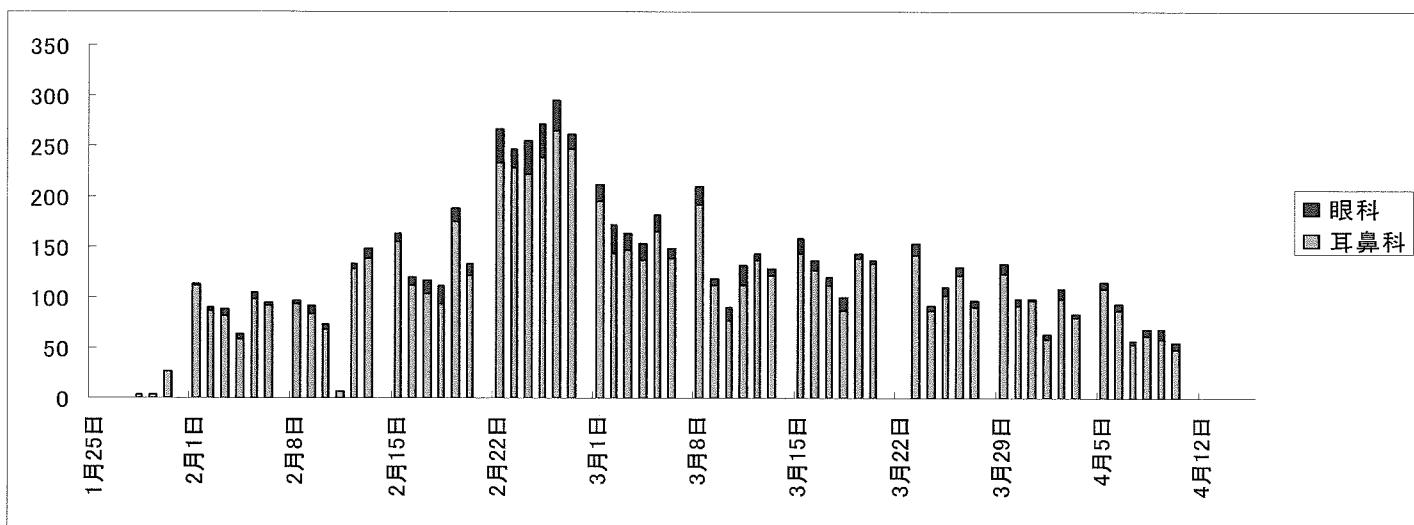
1500～4000 個/season となる。1987 年～2008 年の平均数の 0.6～1.6 倍である。(図 6)
実際のスギ雄花は非常に多く花粉をつけており、これらの予測以上に
飛散する可能性が高い。

ヒノキ科は 2010 年の少量飛散を考慮すると元来ヒノキ科の多い九州北部では予測より
さらに大量に花粉が飛散する可能性がある。

NPO 花粉情報協会の専門家が 6 月・7 月・8 月の気象条件と福岡のデータから予測し他結
果は約 4000 個で我々の予測より約 2 倍多いとされており、最近の気象条件の変動から我々
が今まで行ってきた 7 月からの気象条件のみでは予測が困難になってきていることも考える
必要がある。

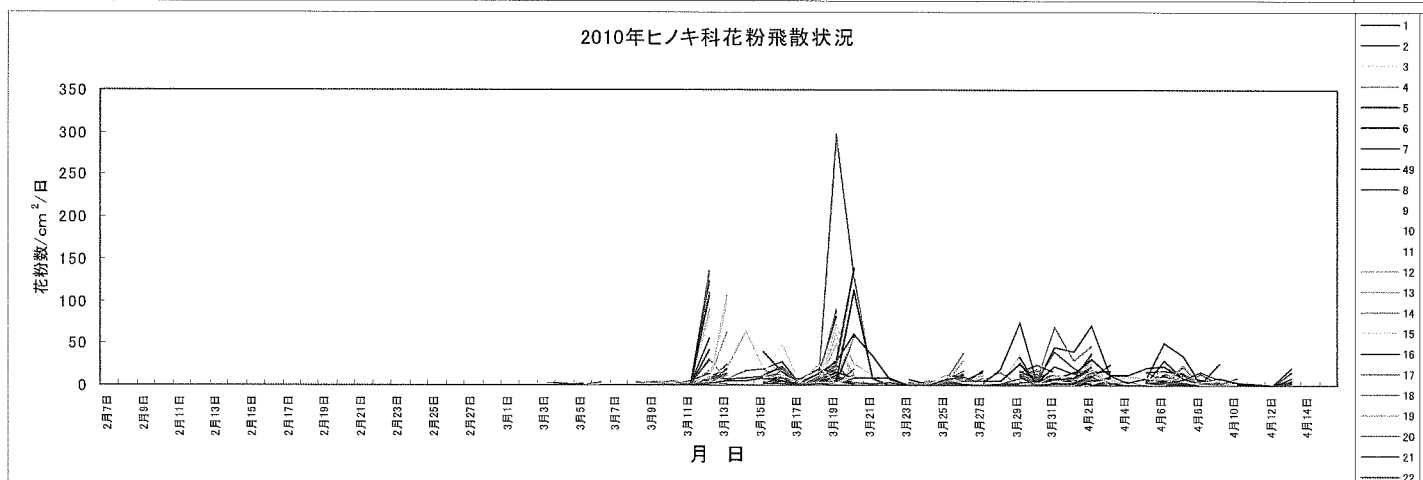
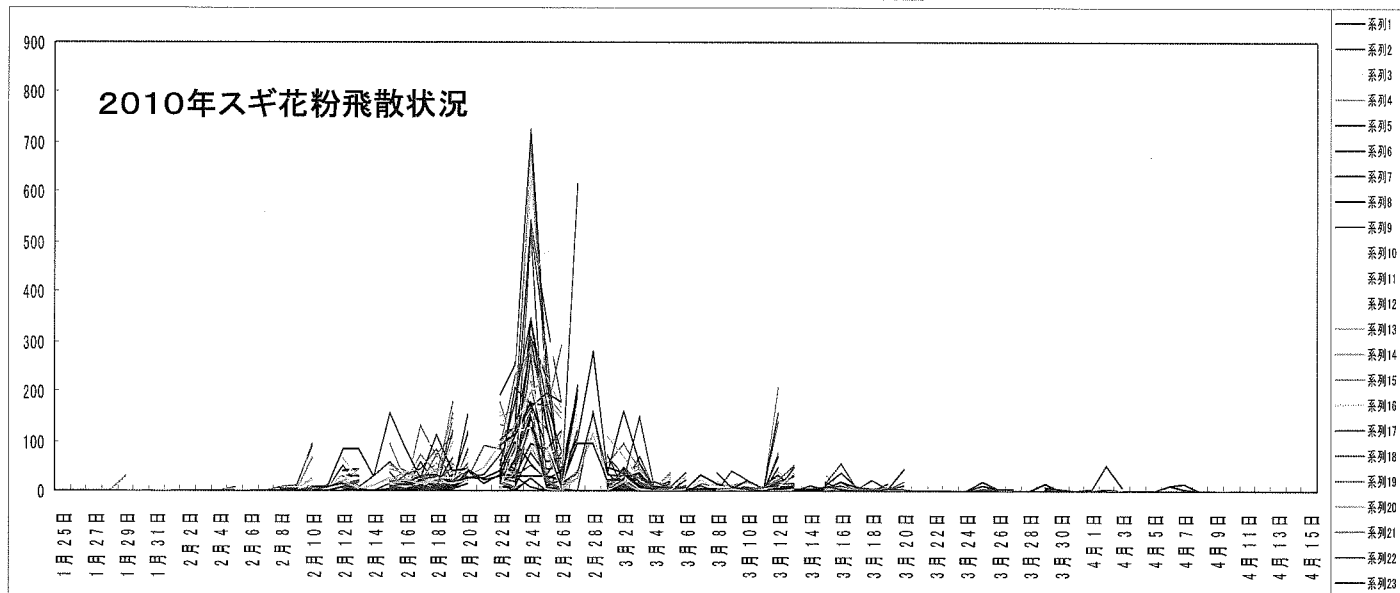
花粉症患者受診状況(福岡県内)-4月10日まで-

2010年花粉情報



1/29久留米市
1/30久留米・北九州市
耳鼻科

2月1日～福岡県耳鼻科9件
福岡県眼科3件(2月15日～4件)

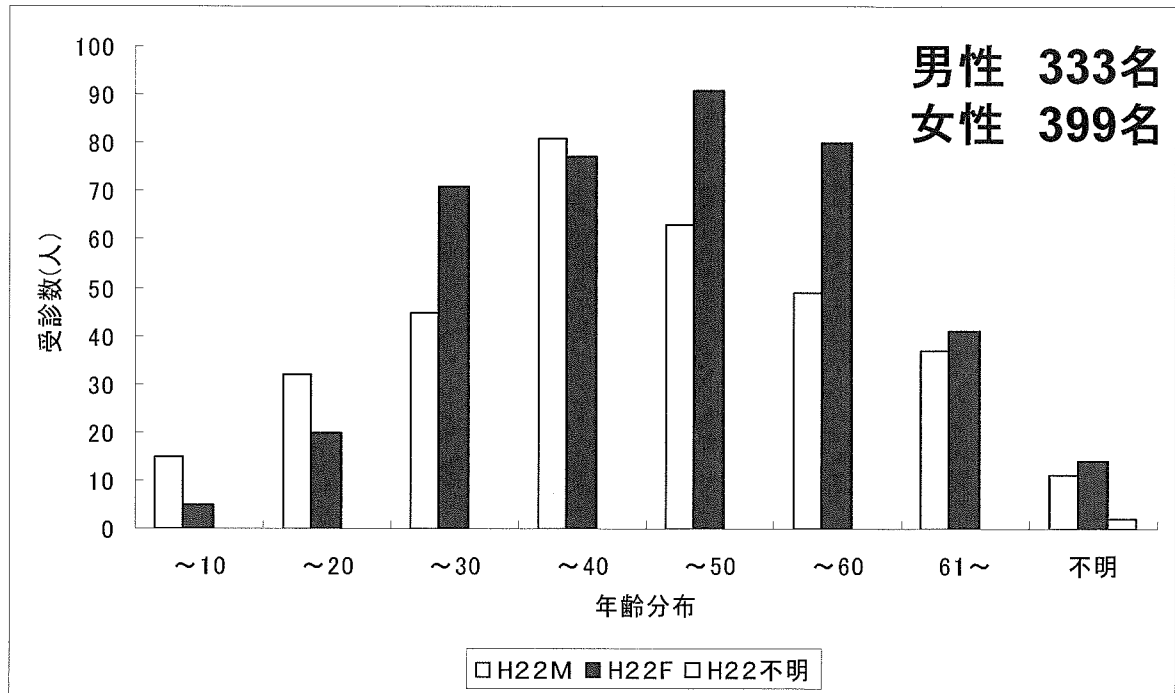


九州全域のスギ、ヒノキ科花粉観測数
2010年4月13日まで

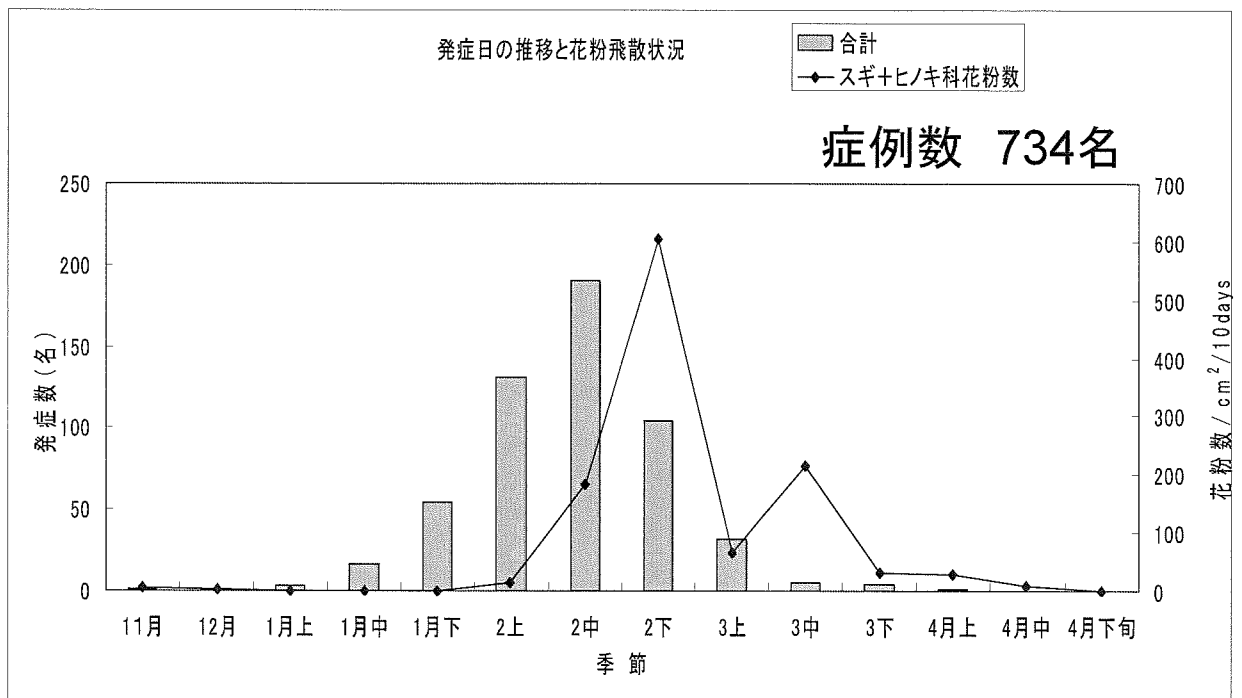
(系列1～49:各調査施設)

図1

2010年福岡市内2件の耳鼻科受診数



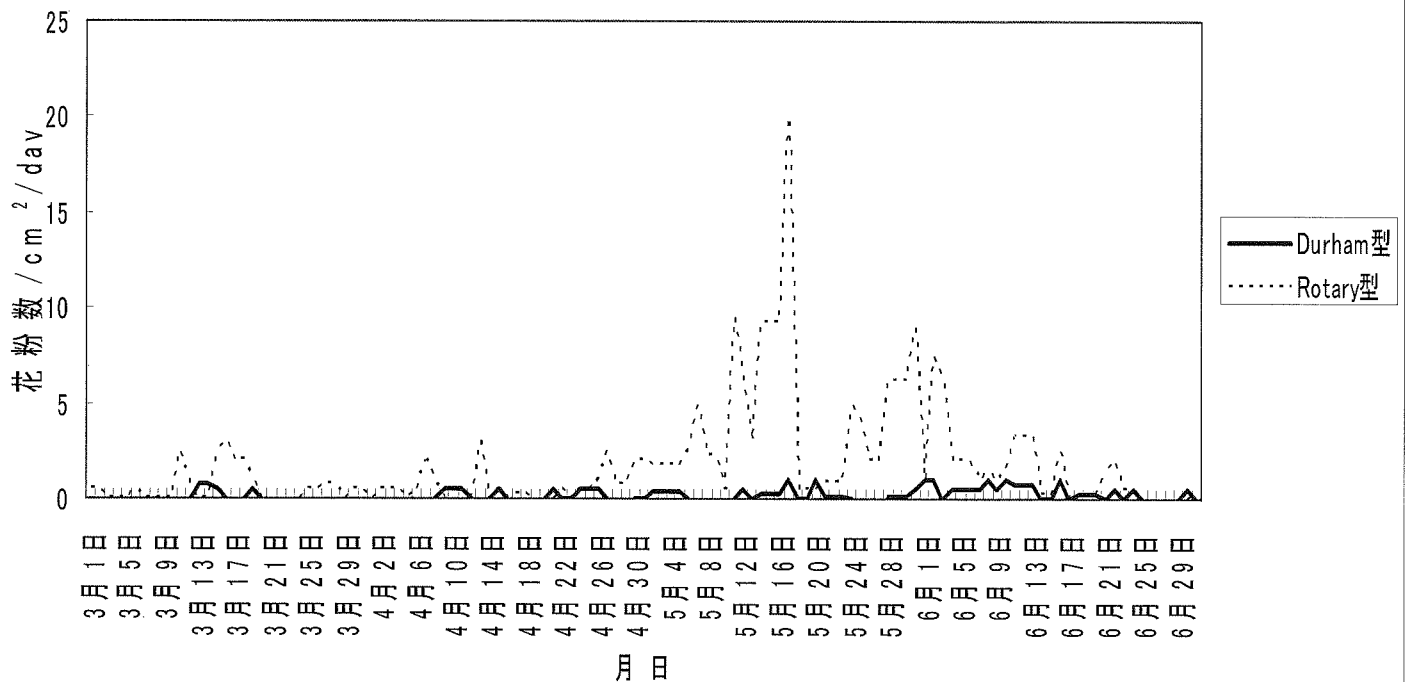
市内の南区大橋と中央区渡辺通りの2件で、734名（性別不明2）であった。女性が多く40代をピークに20～50代に多く、男性は30代にピークを示した。



発症日経過を旬毎グラフに示した。花粉数はNHO福岡病院の測定値である。飛散開始直後(2月8日)より急速に発症しているのが明らかであった。

図3.市内2耳鼻科施設の受診数における性年齢分布と発症日

2010年イネ科花粉飛散状況(福岡病院:福岡市南区)7月2日朝までの観測



イネ科花粉症患者数
-宗耳鼻科(福岡市西区)-

イネ科花粉飛散数と花粉症患者の関係はダーラム法では判りにくかった。飛散ピーク時期の5月に入ると患者数が増加した。

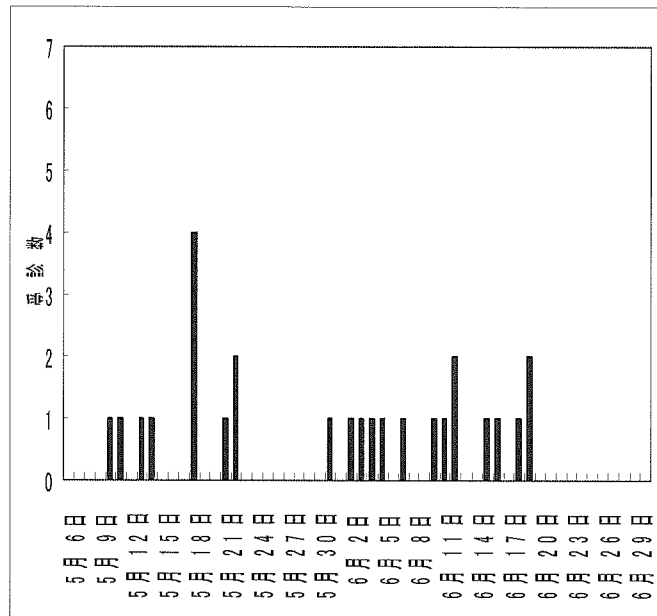
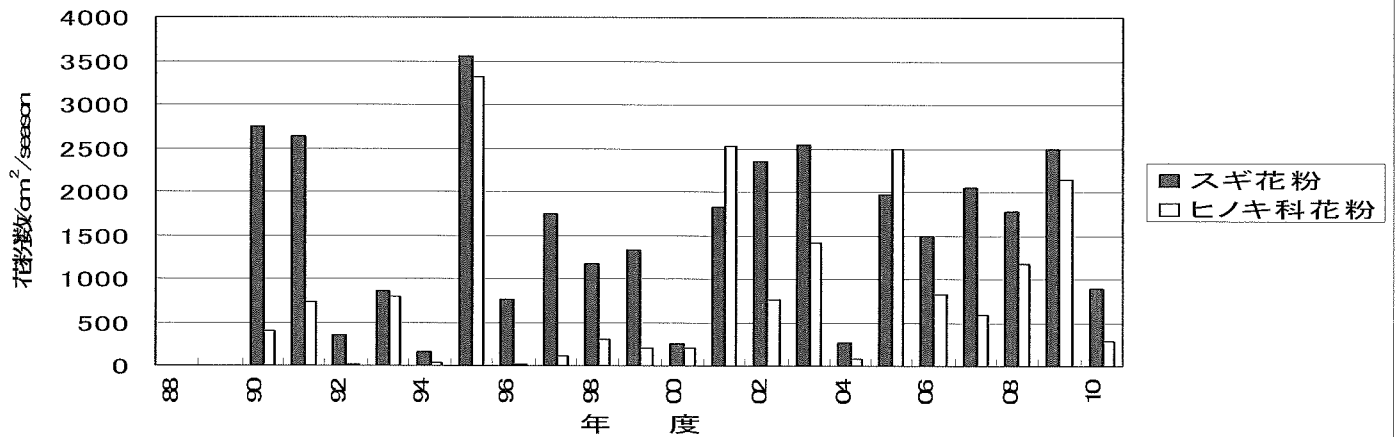
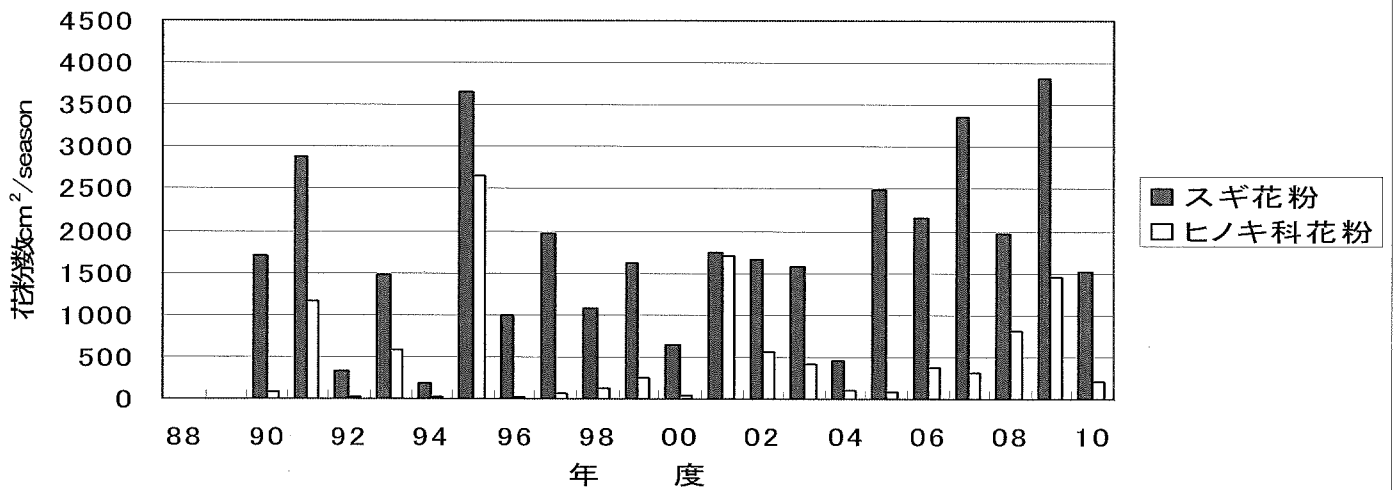


図4.イネ科花粉(南区)とイネ科花粉症患者受診状況(西区耳鼻科)

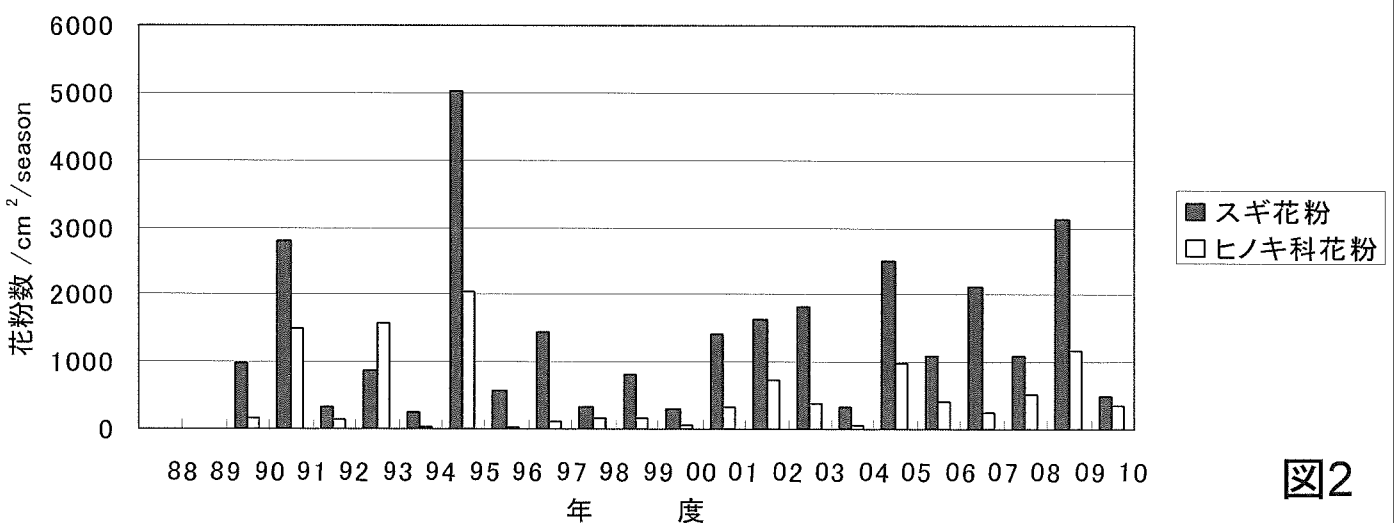
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—佐賀県医師会成人病センター—



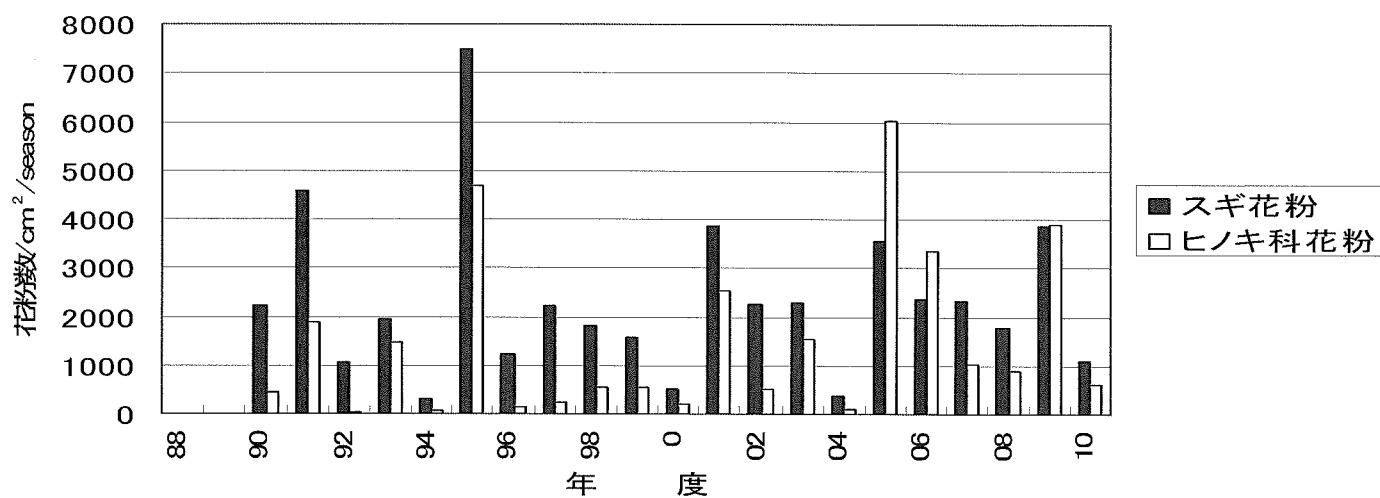
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—長崎大学附属病院検査部—



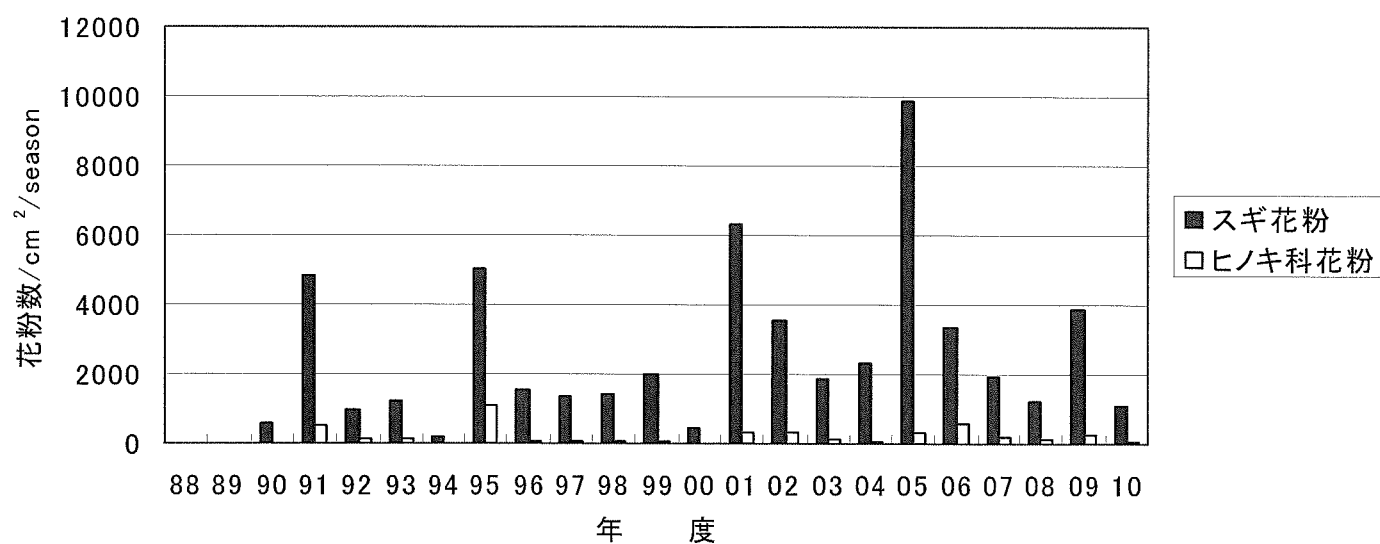
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—熊本市医師会臨床検査センター—



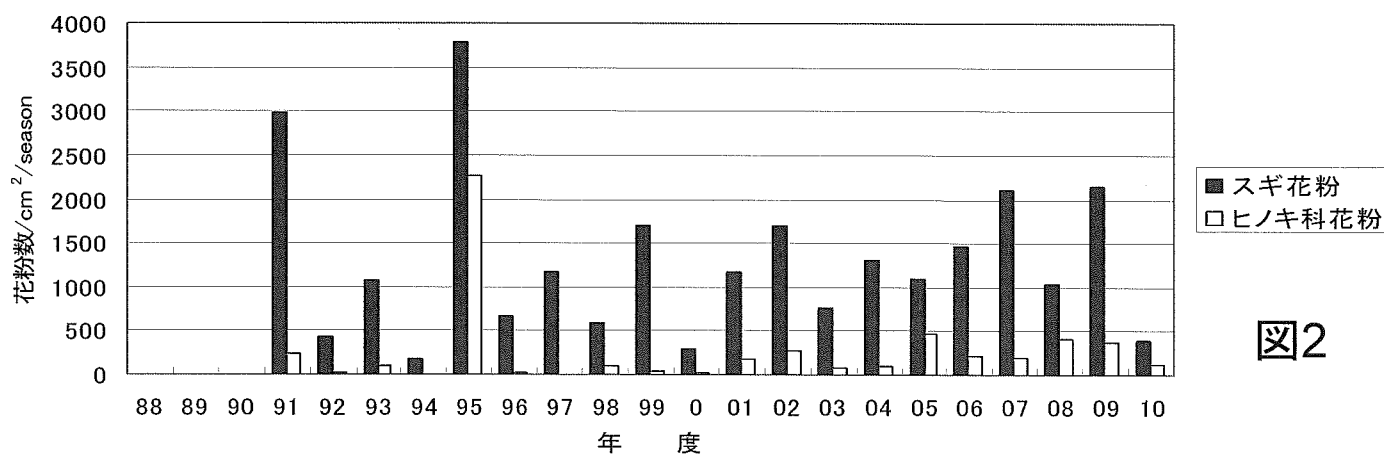
スギ・ヒノキ科花粉捕集総数年次変動グラフ
—大分大学医学部耳鼻咽喉科（由布市）—



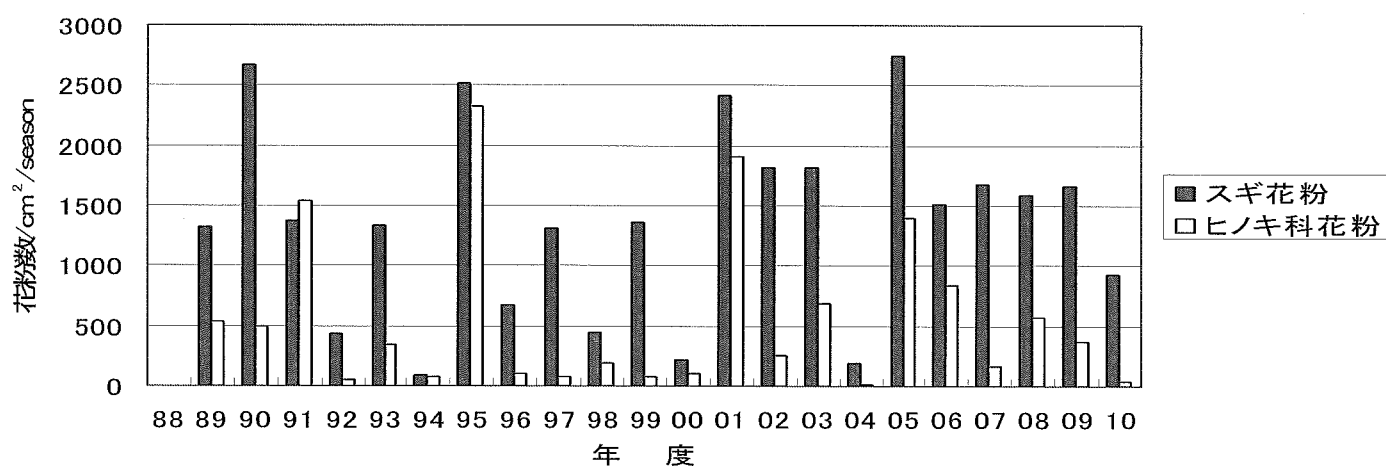
スギ・ヒノキ科花粉捕集総数返事変動グラフ
—宮崎都市医師会臨床検査センター(宮崎市)—



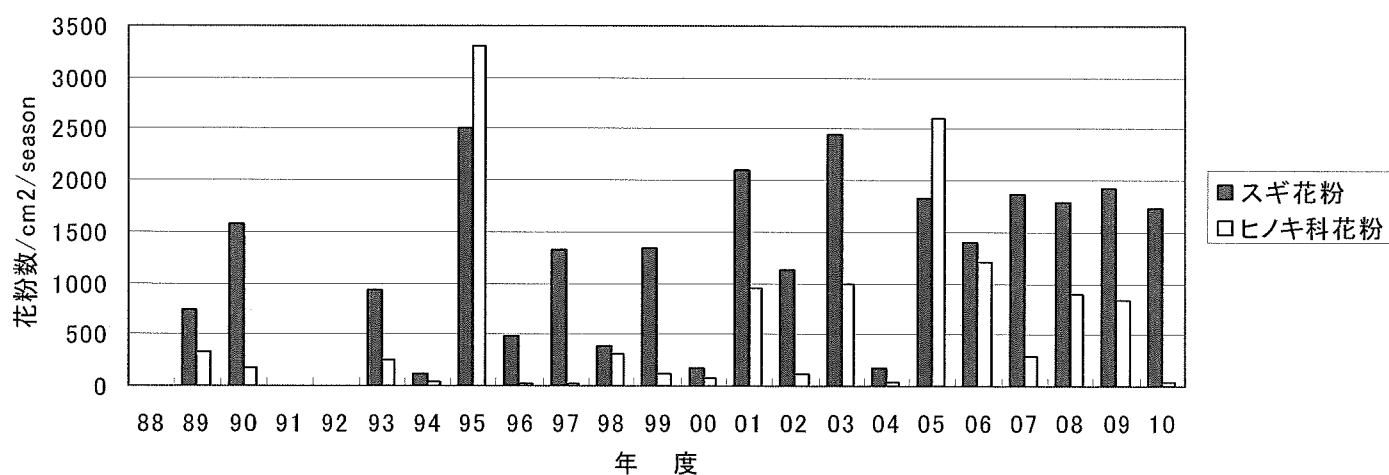
スギ・ヒノキ科花粉捕集総数年次変動グラフ
—鹿児島市医師会病院（鹿児島市）—



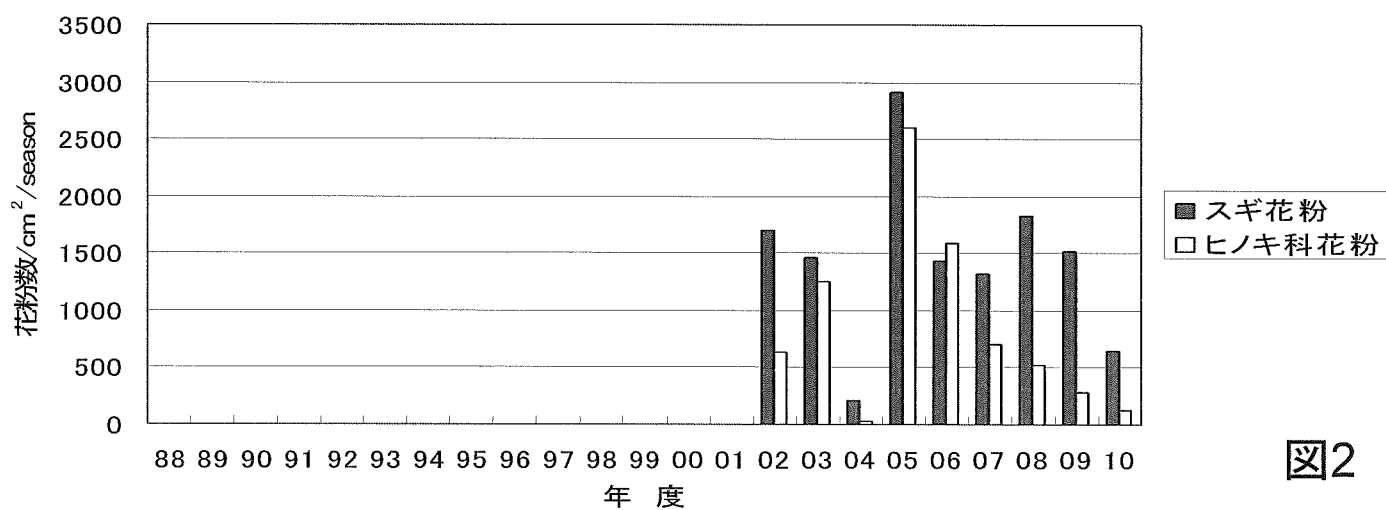
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—小倉医師会臨床検査センター—



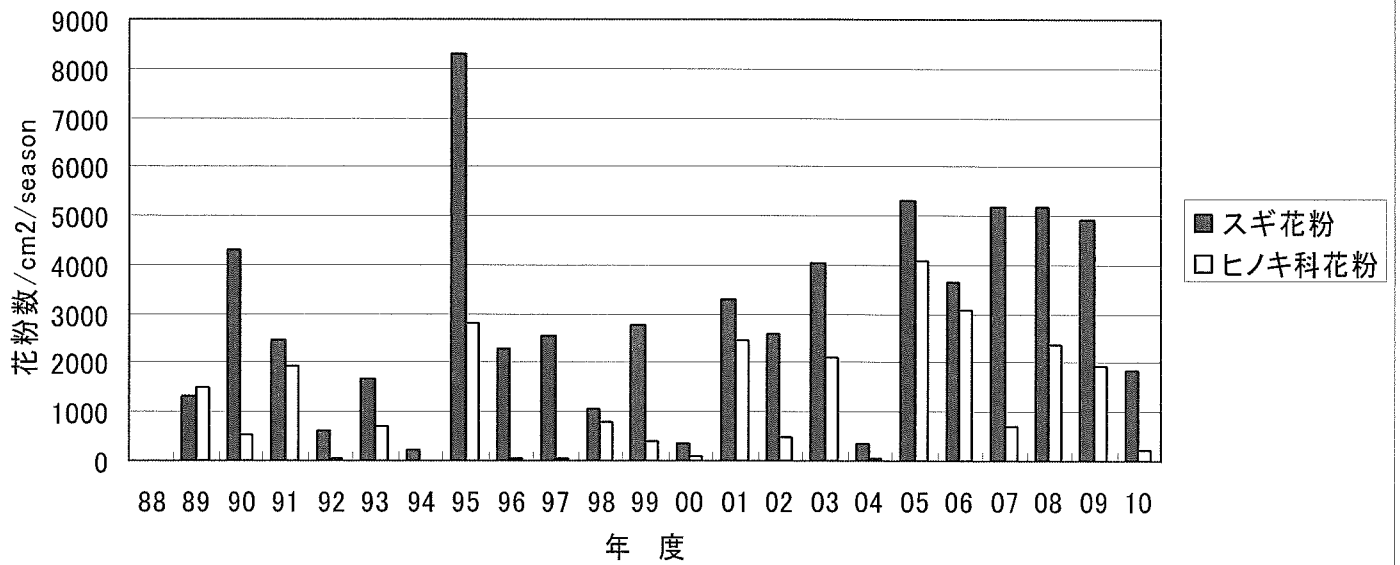
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—九州健康総合センター—



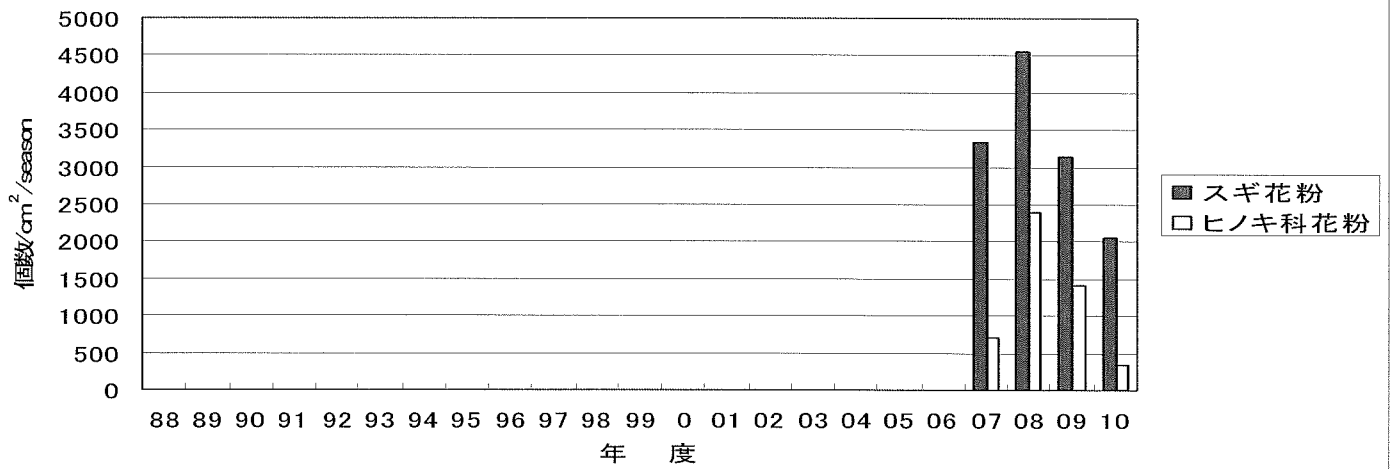
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—北九州市薬剤師会—



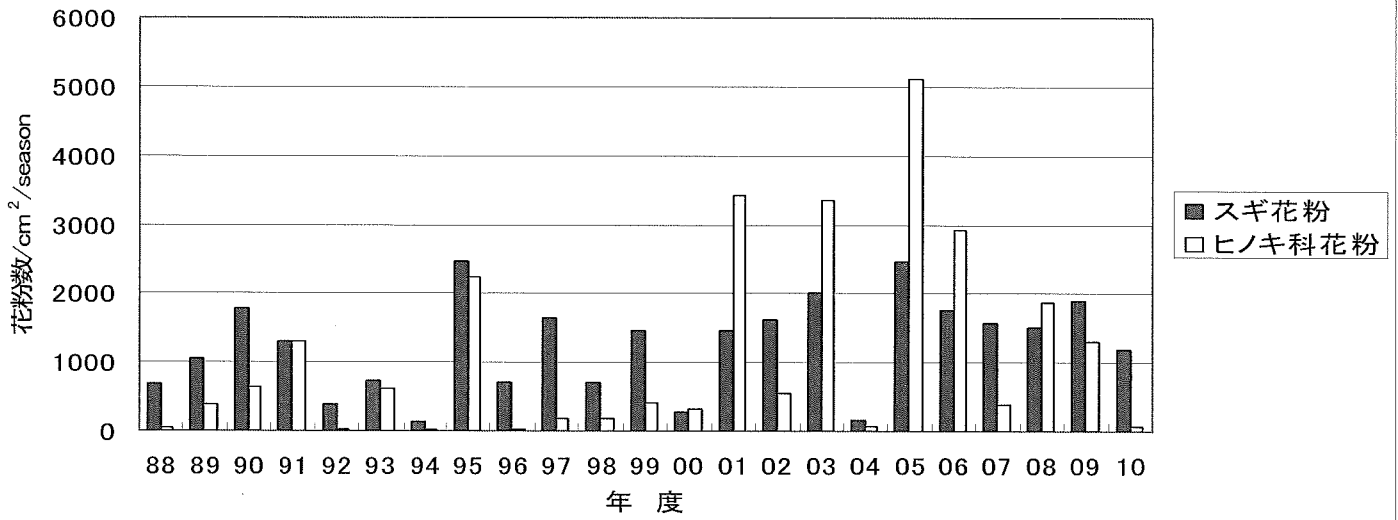
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
 ―豊前築上医師会成人病検診センター―



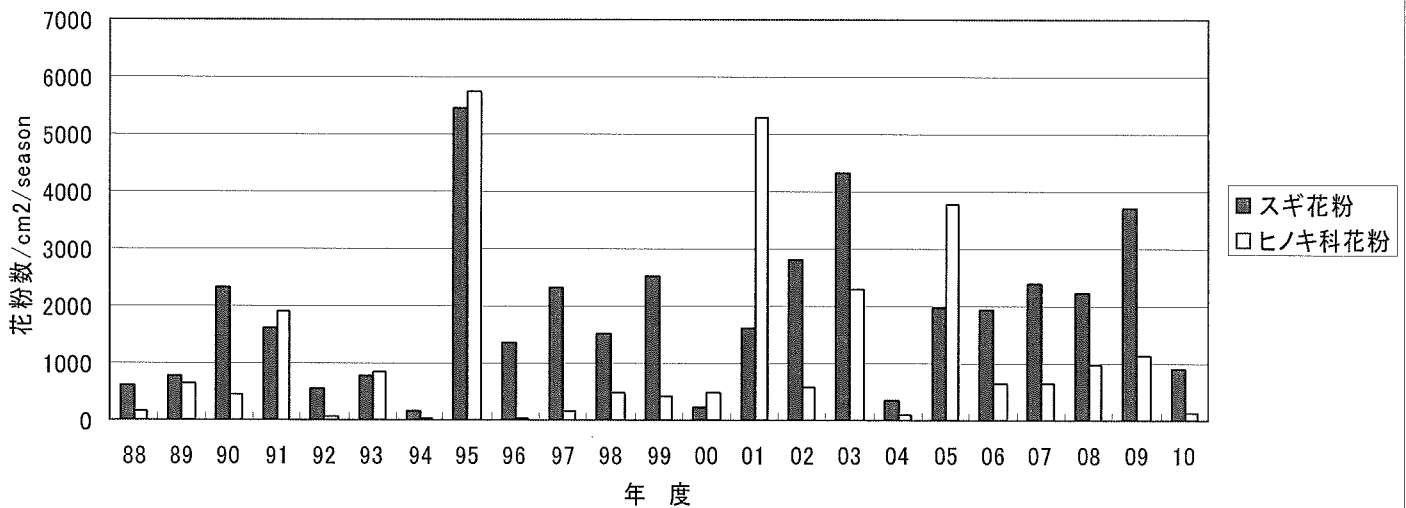
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
 ―新田原耳鼻咽喉科(行橋市)―



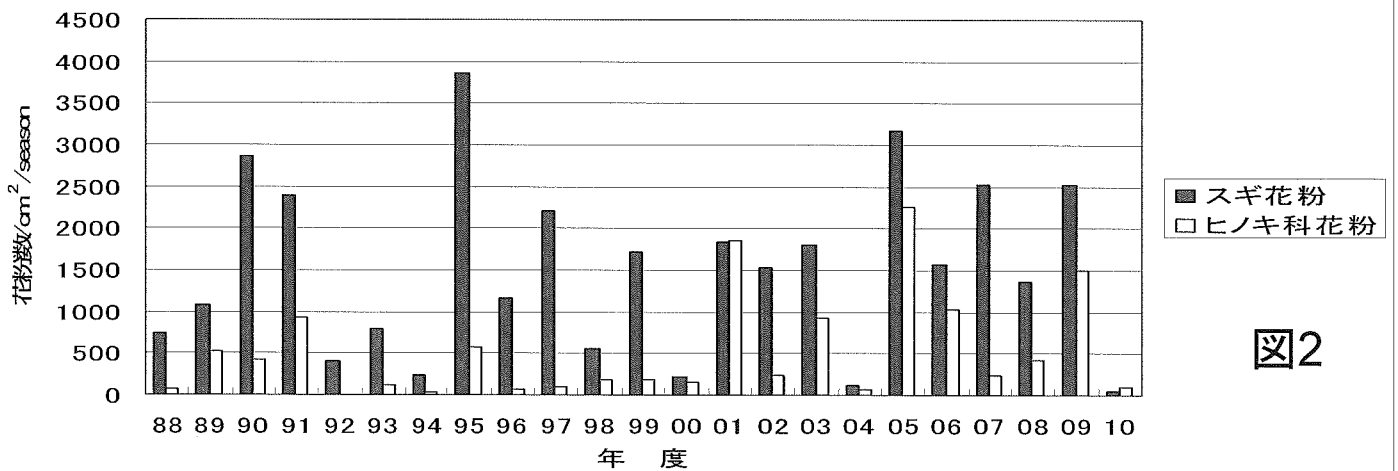
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—福岡市医師会成人病センター—



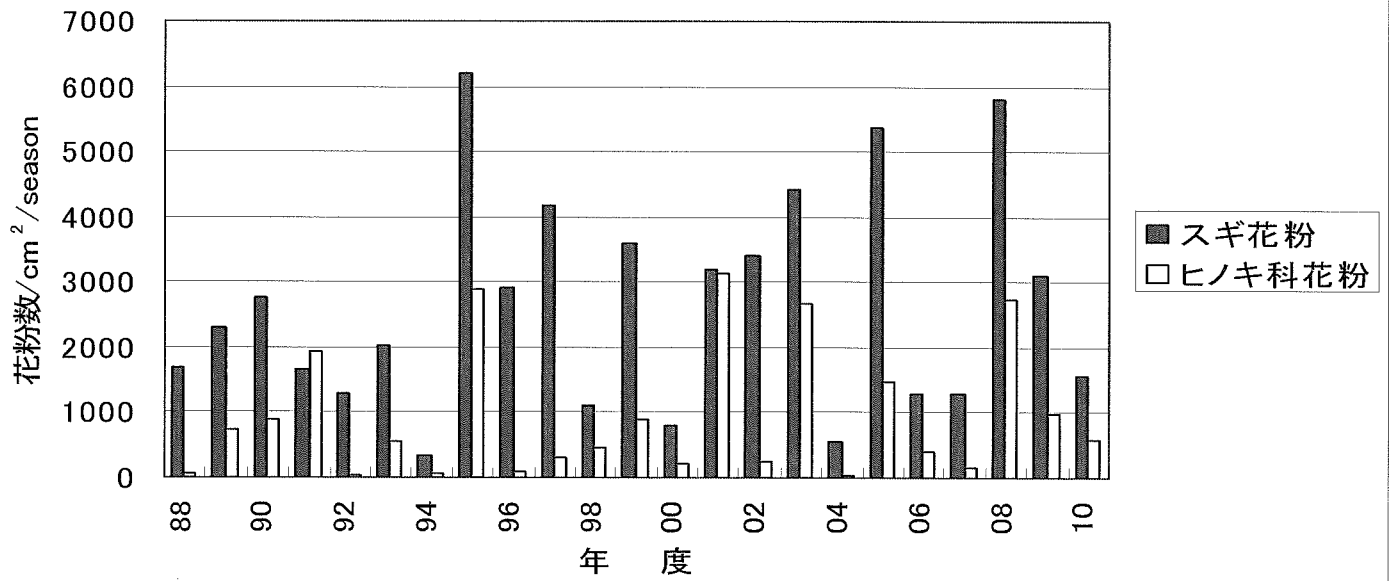
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—福岡大学筑紫病院—



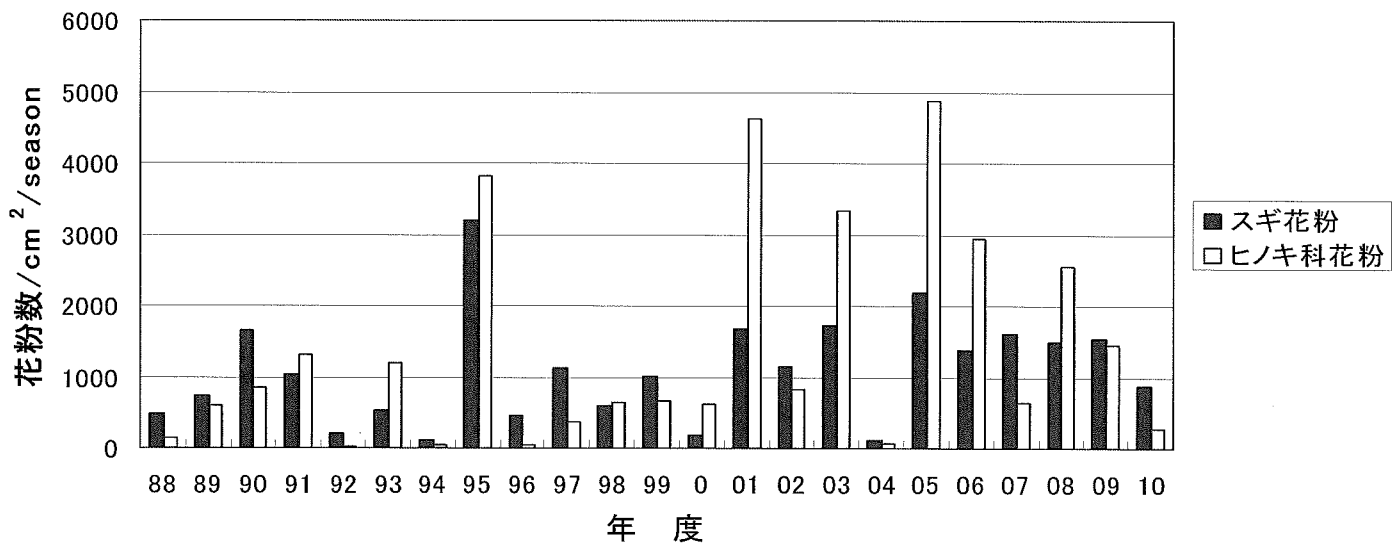
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—糸島医師会病院—



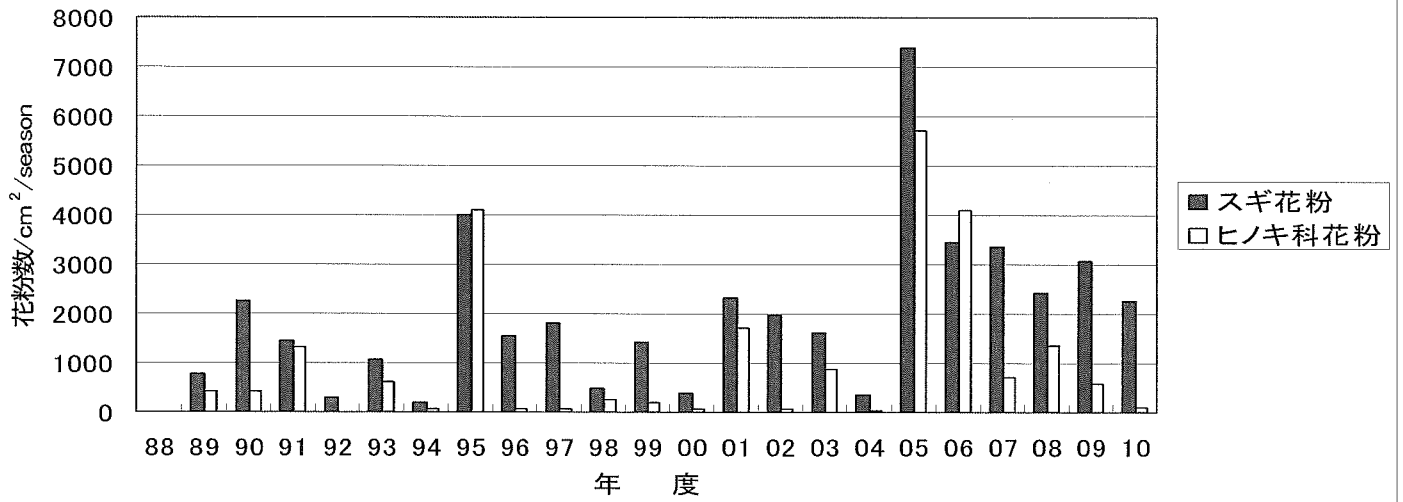
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—宗像医師会病院—



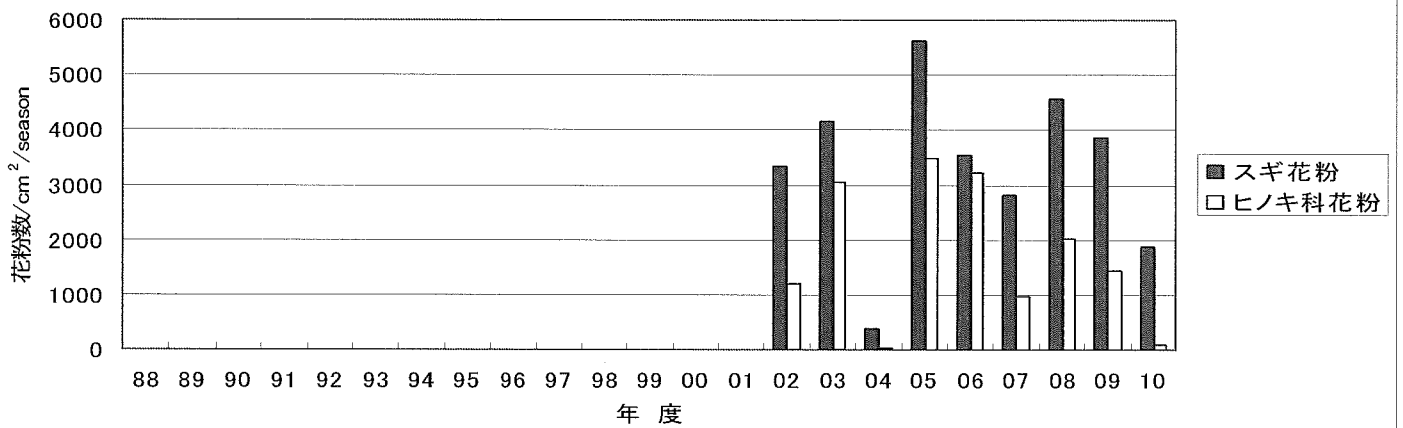
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—国立病院機構福岡病院—



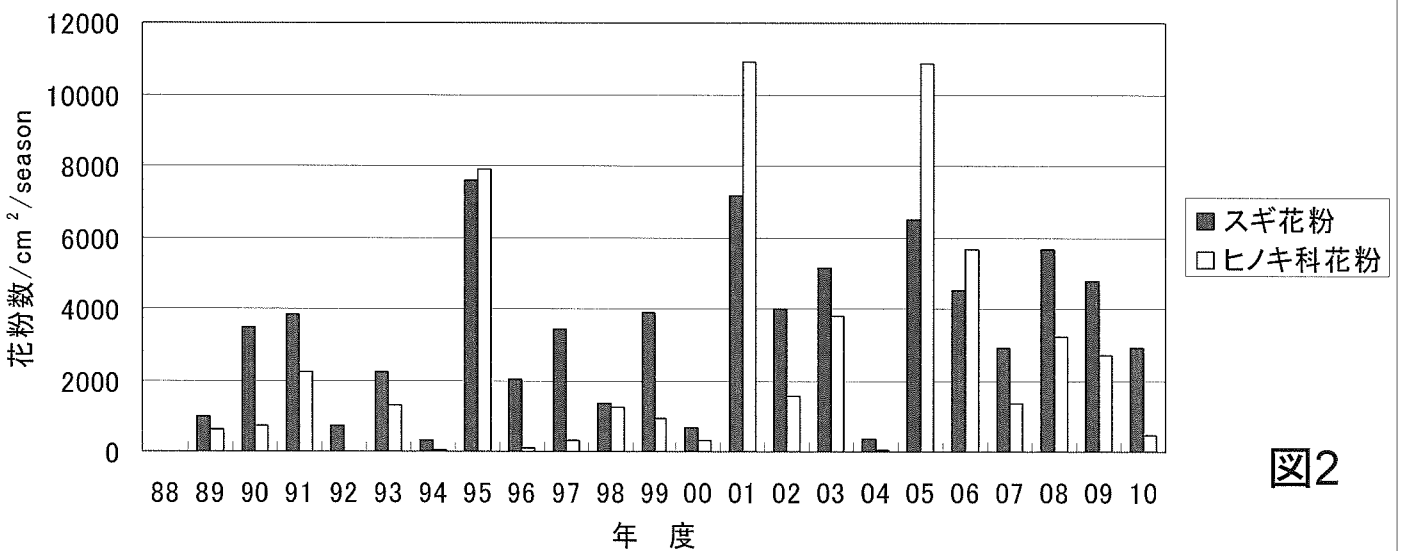
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—直方中央病院—



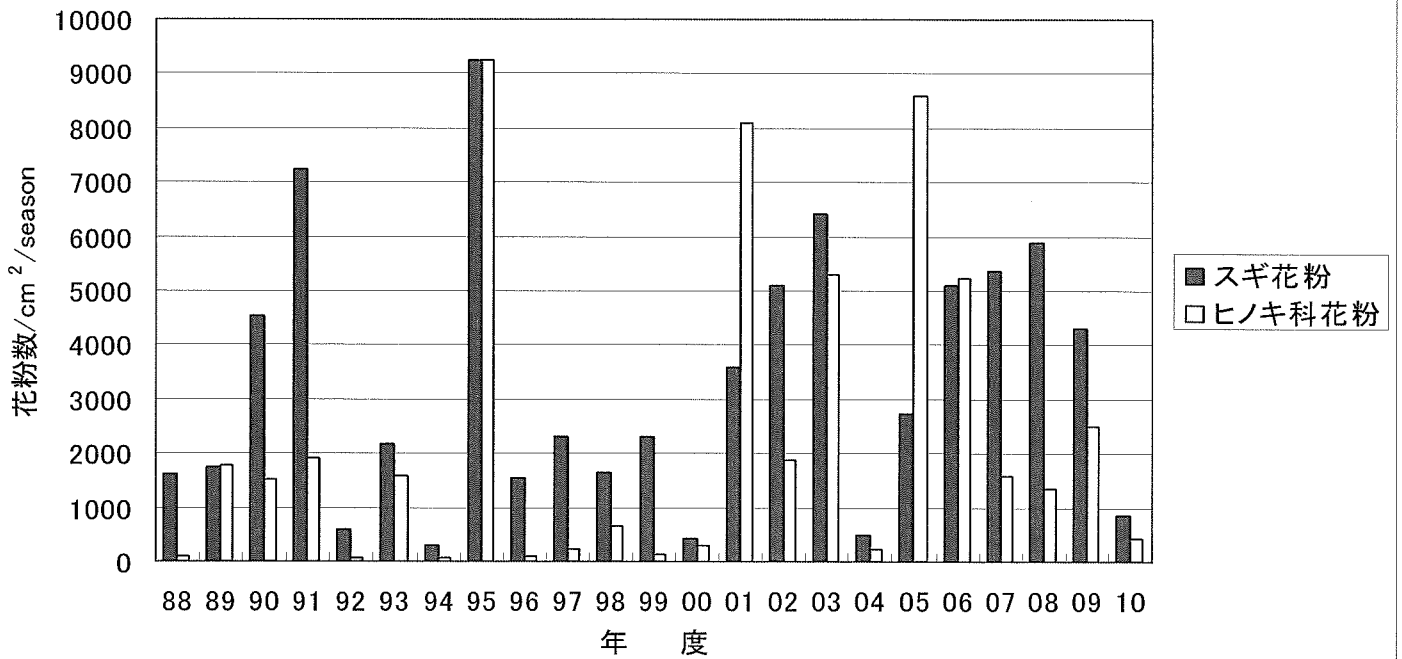
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—田川市立病院—



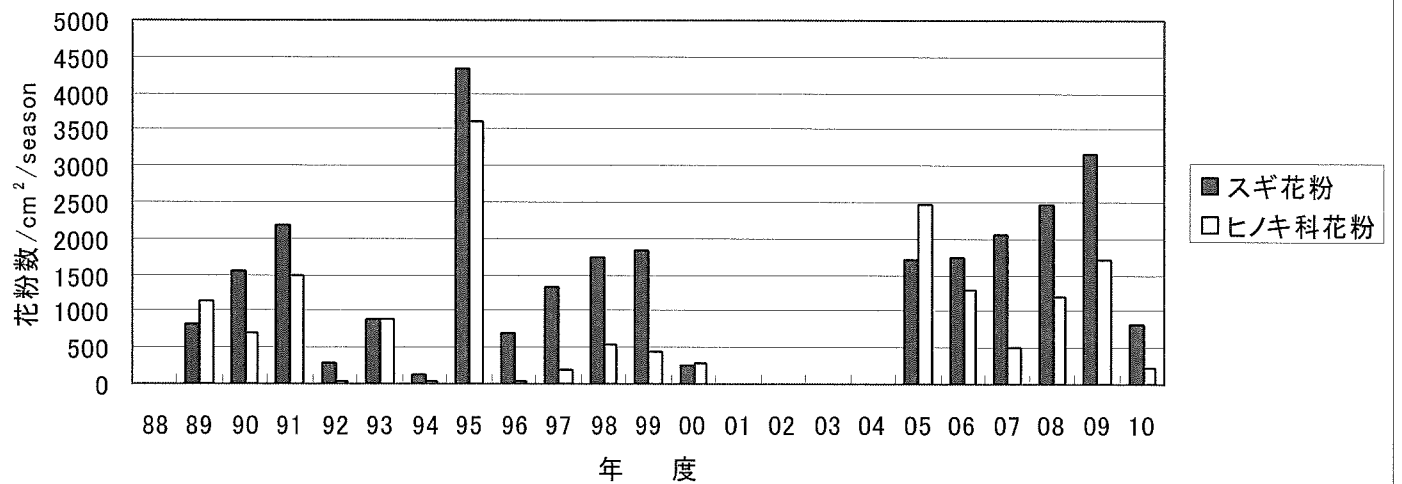
スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
—飯塚医師会検診センター—



スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
 ―甘木朝倉医師会病院―



スギ・ヒノキ科花粉総数年次変動グラフ
 ―井上耳鼻咽喉科(久留米市)―



環境省花粉観測システム(愛称: はなこさん)

花粉飛散状況を地図と表、グラフでみることが出来ます。

花粉飛散データは、観測地点から自動送信されており、毎時35分頃にホームページを更新しています。

※2月1日より今シーズン花粉飛散状況の公開を開始しました。



関東地
域

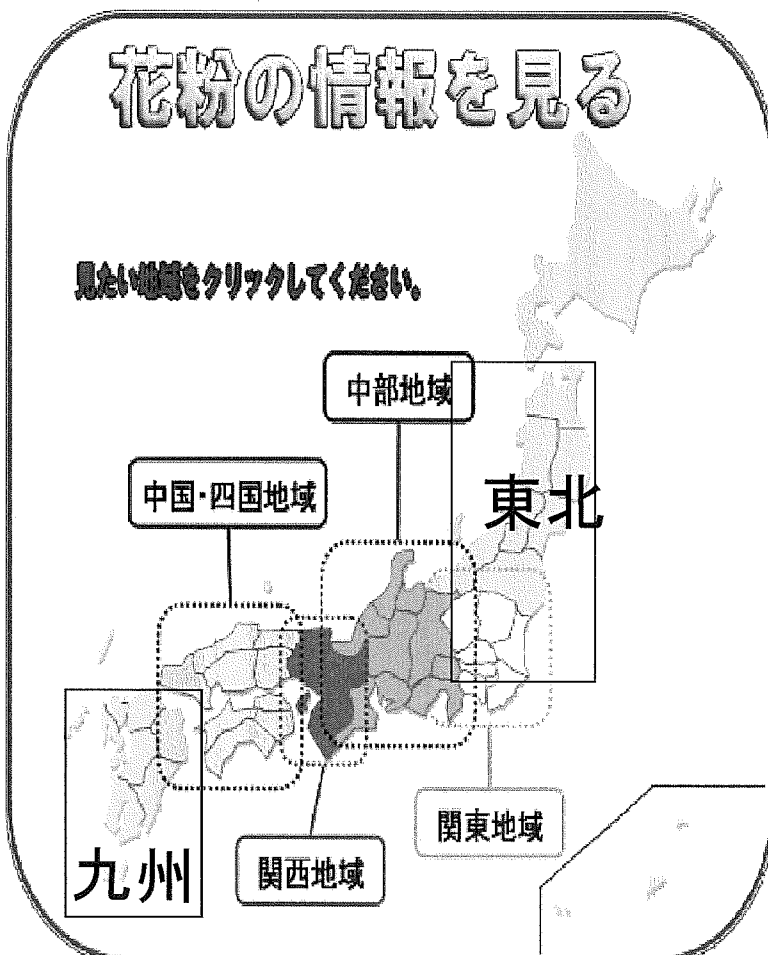
中部地域

関西地
域

中国・四国
地域

花粉の情報を見る

見たい地域をクリックしてください。



関東地
域

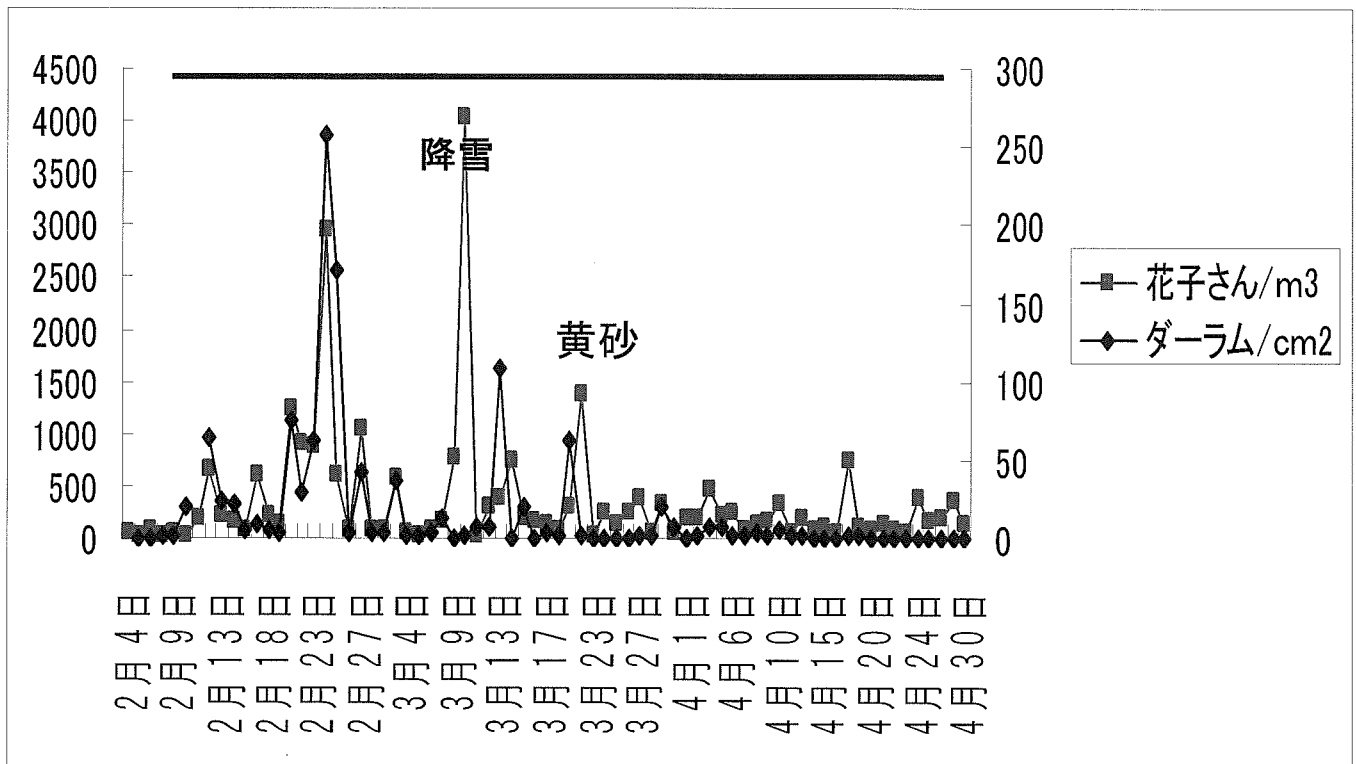
中部地域

関西地
域

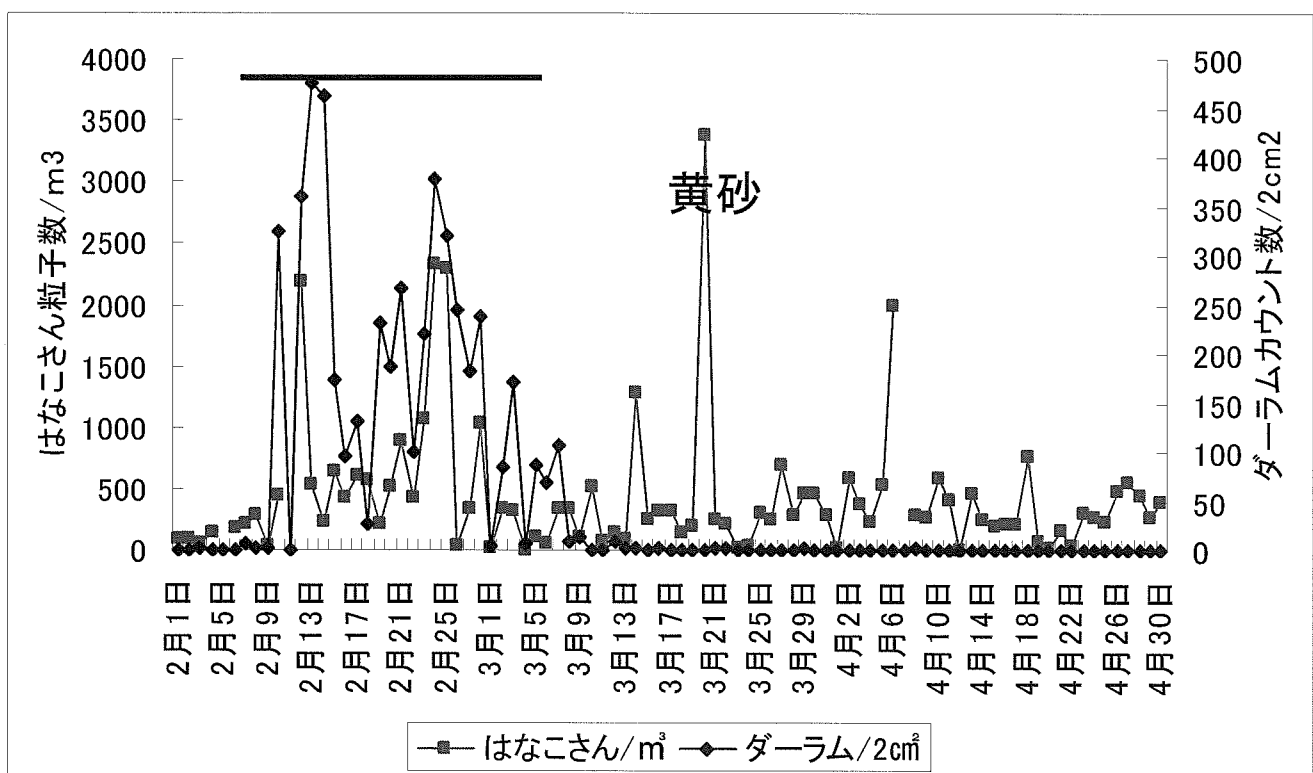
中国・四国
地域



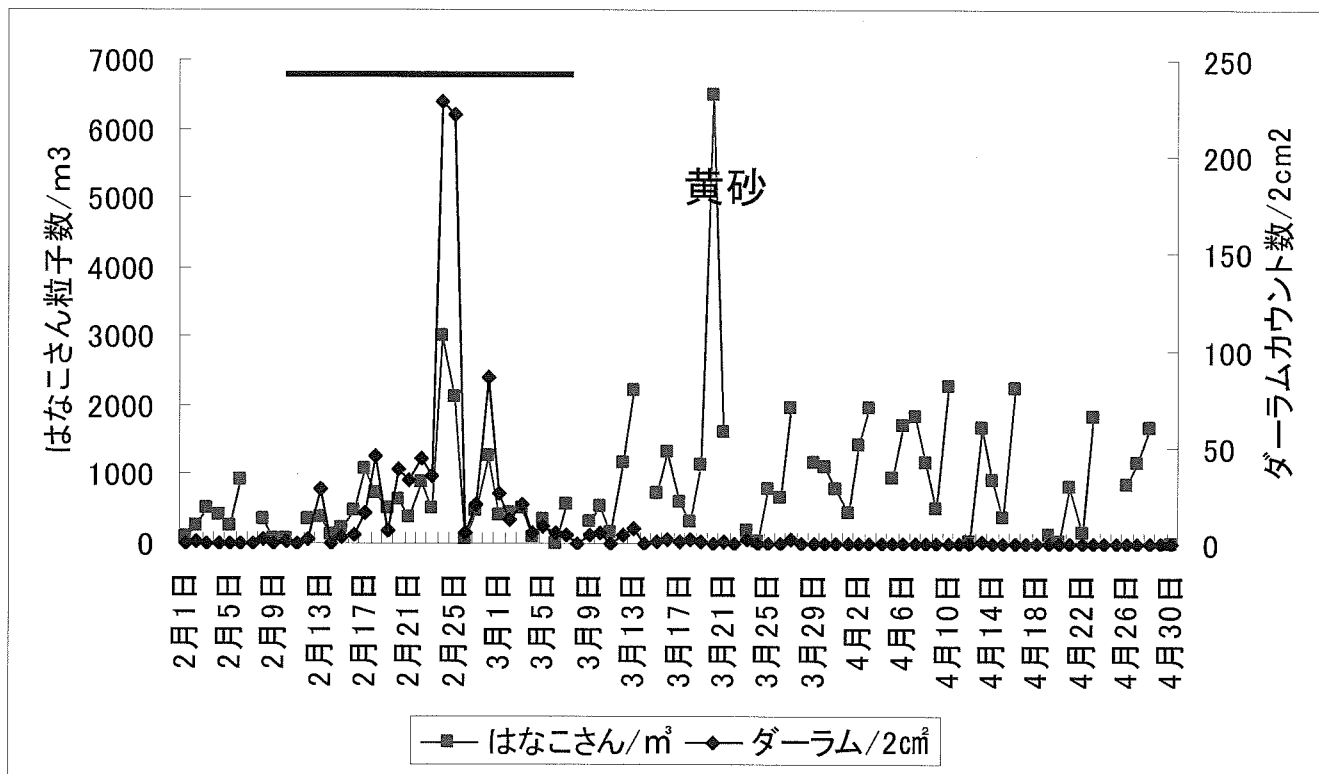
はなこさん粒子数と各地の主にスギ花粉飛散数を比較した



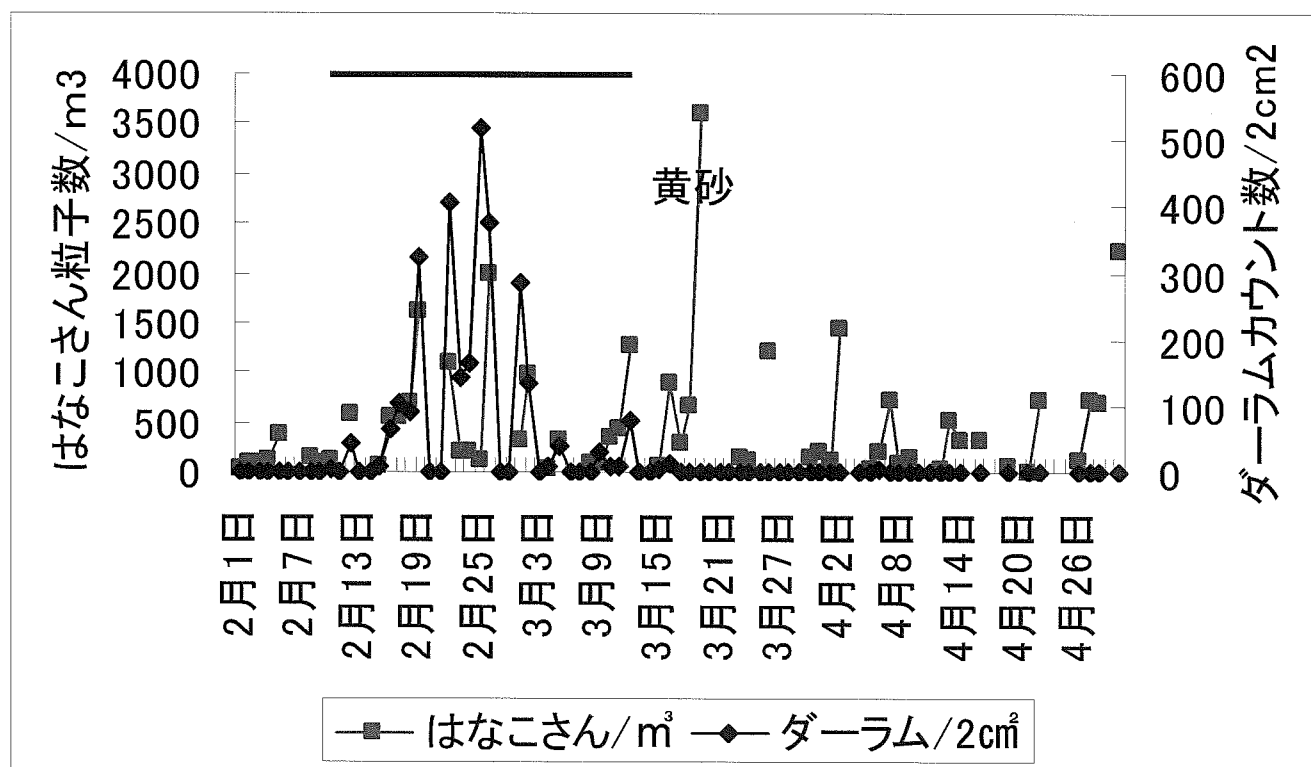
福岡市 $R=0.482, <0.0001$



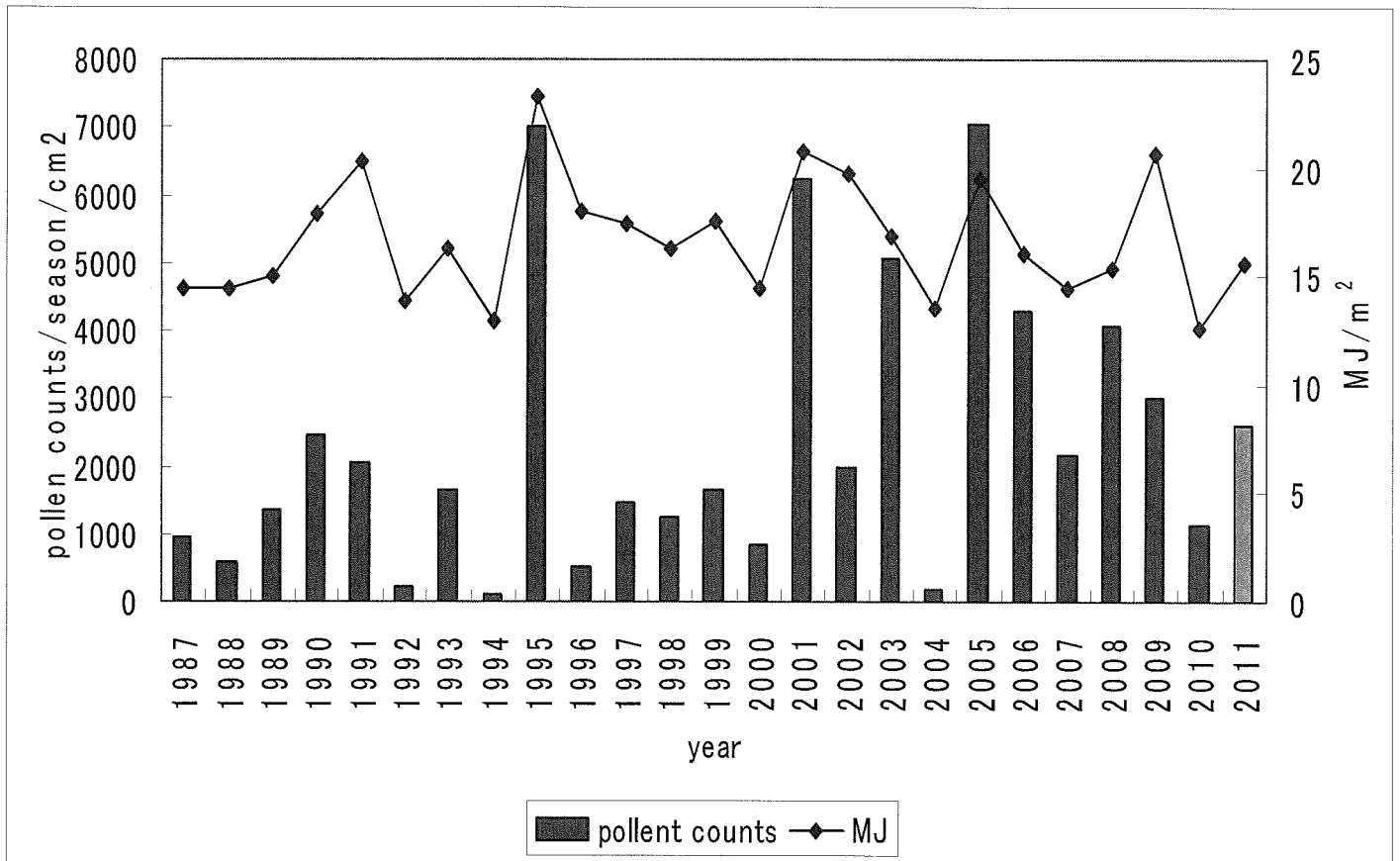
長崎市 $R=0.361, p<0.05$



熊本市 $R=0.925, p<0.0001$



宮崎市(宮崎市) $R=0.161, NS$ 図 5



気温、湿度、全天日射量の重回帰分析で算出した。
 (有意水準1%で、重回帰の式に各変数を代入した。
 $r=0.75$ 、 $p=0.0002$ 、

変数:2010年7月平均気温:27.7℃、平均湿度:73%、全天日射量15.6 MJ/m²

2011年の予測数:約2600個)
 2010年の約2.3倍、過去24年平均の約1.1倍

図 6 NHO福岡病院における平均全天日射量とスギ、ヒノキ科総数